



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2016.2月号

展示開催 2月6日(土)~2月21日(日)

第17回 博物館文化祭

―サークル活動展示・発表・実演―

博物館を拠点に、学芸員と一緒に、地域の自然と文化を学び調べている市民サークルが、その活動の成果を展示、発表、実演します。学びの輪がさらに広がることを願って。

文化祭のメインイベント「活動報告会」を2月14日(日)に開催します。実演イベントと合わせ、詳しくは2頁をご覧ください。



展示サークル

- 天体観察会 「2015年度の天体観察会」
- 展示解説ボランティアの会 「「知ってますか?」～展ボラの活動(since1999)～」
- 東国史跡踏査団 「五領ヶ台貝塚と南金目の地形・鎌倉の切通し「名越」」
- 古代生活実験室 「実験考古学ー私たちグループが目指すものー」
- 平塚の古代を学ぶ会 「相模国庁模型制作プロジェクト」
- 神奈川キノコの会 「雑木林のキノコ キノコらしくないキノコ」
- 民俗探訪会 「平塚をもっと知ろう」
- 石仏を調べる会 「八幡・四之宮の石仏」
- 聞き書きの会 「平塚に暮らして」
- 古文書講読会 「徳川家茂上洛当時の世相」

イラスト：岡部盛敏(民俗探訪会)

活動報告会

2月14日(日)午後1時～

会場：講堂

サークルの日ごろの活動成果を発表します。

参加：自由

13:00	開会あいさつ	山形俊雄	博物館文化祭実行委員長
13:05	『平塚の石仏 改訂版』の完成	山形俊雄	石仏を調べる会
13:30	平塚に暮らして	神谷智子	聞き書きの会
13:55	14代将軍上洛	茂木良平	古文書講読会
14:20	古代の調べー土笛制作から実演までー	中西令子	古代生活実験室
14:45	休憩		
14:55	平塚空襲を忘れない	藤野敬子	平塚の空襲と戦災を記録する会
15:20	海軍第二火薬廠と専用引き込み線	柴垣吉宏	民俗探訪会
15:45	秋期館外研修「相模川河口と須賀を歩く」	天羽輝彦	展示解説ボランティアの会
16:10	流れ星を切る！回転シャッター流星号	萩原亜香 永井和男	天体観察会
16:35	閉会あいさつ	澤村泰彦	博物館長

実演イベント

どのイベントも申込不要、参加費無料です。ふるってご参加ください。

平塚の空襲と戦災を記録する会
キャッチボールトーク

未来を担う子ども達と平塚空襲を考える

空襲体験談や子ども達が上演する空襲紙芝居を通して平塚空襲を考えます。

2月7日(日) 午後1時～3時 会場：講堂

天体観察会

天体観察会会員によるプラネタリウム投影

会員の2名が、会で学習した成果を活かして、プラネタリウムで冬の星空その他を投影・解説します。無料。

2月7日(日) 午後3時30分～4時30分
会場：プラネタリウム室

天体観察会

太陽黒点観測の実演

望遠鏡で太陽を投影し、黒点を観察します。昼間の金星の観察にもチャレンジ!

2月14日(日) 午前10時～12時
場所：博物館正面玄関前

古代生活実験室

古代土笛を体験しよう

弥生時代の土笛の製作過程を知り、その音色を感じてみましょう。
2月14日(日) 午前10時～12時 会場：科学教室

お囃子研究会

みんなで叩くお囃子体験会

会員の囃子太鼓演奏の後、参加者の皆さんと一緒にいろいろなリズムで太鼓を叩きます。
2月20日(土) 午後3時～4時30分
会場：相模の家と講堂

寄贈品コーナー ひな 雛人形展

2月3日(水)～3月3日(木)



明治39年の雛人形 (松上芳枝氏寄贈)

館蔵の雛人形を展示します。

会期中、「わが家のおひなさま」と題し、ご自宅やご親戚に飾られた雛人形の写真を募集します。ぜひ写真を撮って博物館へお持ち込みください。写真はプリント・データのどちらでもけっこうです。古い写真も大歓迎です。お寄せいただいた写真を展示させていただきます。

くらしの天文講座

2月27日(土)

★暦とうるう年の関係★

今年は4年に一度の「うるう年」です。

2月が1日増えて29日になる、ということはご存じのとおりですね。もともと28日しかない2月。2月生まれの人は肩身が狭い思いをしつつ、4年に一度ちょっと得した気分になれる、そんな2月です。うるう年はオリンピックイヤーですし、アメリカの大統領選挙もあります。うるう年はどのような仕組みで暦に組み込まれたのでしょうか。西暦の仕組みとうるう年の関係をプラネタリウムの機能を使ってお話しします。

2016年2月27日(土)

午後3時30分～午後5時
会場：博物館3階

プラネタリウム室

定員：30名(先着順)

当日3階プラネタリウム室にお集まりください。



プラネタリウム新番組

星はすばる ～星の和名たち

2016年2月6日(土)～4月3日(日)

プラネタリウムでよく聞く星座…それらは古代エジプトや古代メソポタミアに起源を持つ西洋でつくられたものです。しかし日本でも、昔から星や星ならびに名前をつけ、生活に役立てるとともに親しんできました。西洋の星座と異なり、日本では生活に密着した事物の名前が星に付けられることが多く、また同じ星でも地域によって呼び名が変わることもあります。それらは古来から文学や絵画にも取り上げられてきました。そんな日本固有の星の呼び名…星の和名たちをご紹介します。

投影開始時刻：午前11時／午後2時
(第2土曜日の午前11時の回を除く)

定員：70名

観覧料：200円(18歳未満65歳以上無料)



有名なこの星ならび、西洋では狩人オリオンの姿(オリオン座)、日本では楽器の鼓(つつみ)の姿に見立てた。

プラネタリウム・コンサート



アクアマリン 時空を超える星空の旅

星空や旅を題材に歌う音楽ユニット・アクアマリンが今年も平塚市博物館プラネタリウムに登場。過去や未来、赤道直下や南半球など時空を超えた歌と星の物語をお送りします。

日時：2016年2月26日(金)午後2時／午後7時(各90分程度)

定員：60名

申込：2016年2月12日(金)午前10時より電話申込(先着順)

観覧料：200円(18歳未満65歳以上無料)

予定曲：COSMOS、地球星歌、太陽の翼、金星-Venus-、など



館長の星空解説 春編

春を呼ぶ星

プラネタリウムの星空解説と上のテーマのお話です

日時：2月6日(土)15:30～16:30(15:20開場)

場所：プラネタリウム

解説：澤村泰彦(当館館長)

観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料)

定員：70人

*当日館受付にてプラネタリウム観覧券をお求めください



2月がどうして春なんだ!

・・・というあなたへ



Calendar for February (2月) with columns for date, day of the week, and event details. Includes a '休館日' (Closed) section and a '情報コーナー' (Information Corner) section.

Calendar for March (3月) with columns for date, day of the week, and event details. Includes a '休館日' (Closed) section and a '情報コーナー' (Information Corner) section.

情報コーナーミニ文化祭「綿花を知ろう〜種子と茎を活用したものづくり」(2/27〜3/19)

【自由参加の行事】

- ◎宇宙開発連続講座 第2回「宇宙ミッションを作ろう！」
◎宇宙開発連続講座 第3回「世界のロケット打ち上げ鑑賞会」
◎ろばたばなし
◎郷土史入門講座「誰が金目川を変えたのか？」

- ◎宇宙開発連続講座 第4回「人工衛星を撮ろう！」
◎くらしの中の天文講座「暦とつう年ののはなし」
【プラネタリウム】
☆プラネタリウム幼児向け投影「だれがおひさまかくしたの？」
☆星空と音楽の夕べ

あなたと博物館 43巻11号 通算470号 発行 平塚市博物館 2000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
ホームページ http://www.hirahaku.jp/